

2024年度第2四半期決算説明資料

2024年11月5日

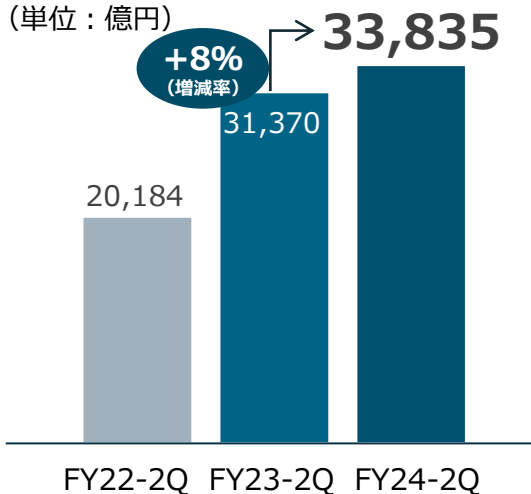
三菱重工業株式会社

1. 決算のポイント	3-5
2. 2024年度第2四半期決算実績	6-14
<ul style="list-style-type: none">• 連結経営成績サマリー• 連結財政状態、キャッシュ・フロー• 事業利益増減分析• セグメント情報	
3. 2024年度業績見通し	15-18
<ul style="list-style-type: none">• 業績見通しサマリー• セグメント情報	
4. 補足資料	19-24
<ul style="list-style-type: none">• 参考データ• セグメント別の状況	

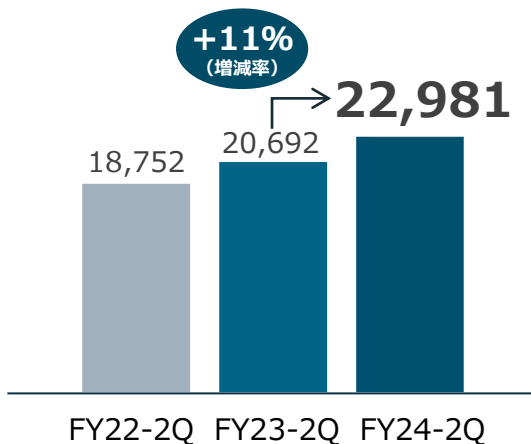
1. 決算のポイント

受注高

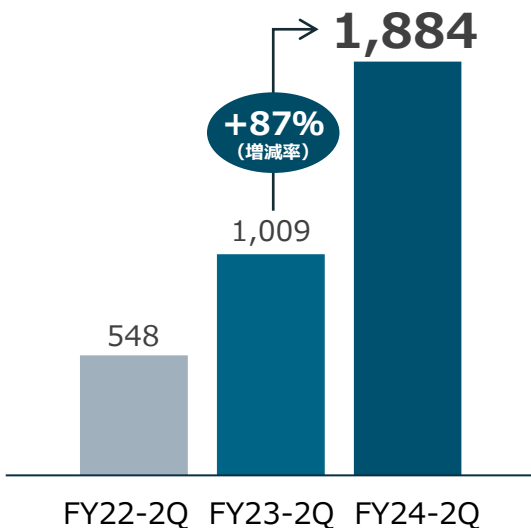
(単位：億円)



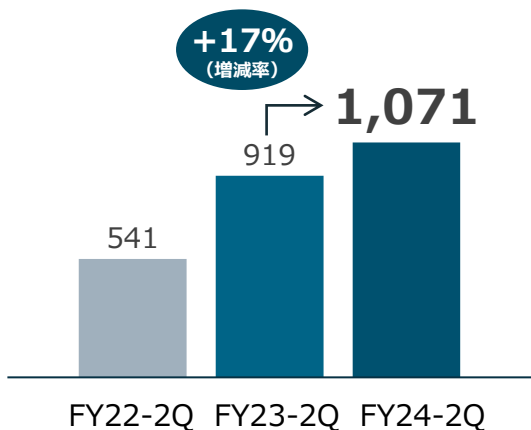
売上収益



事業利益



当期利益



EBITDA

2,662
億円
(YoY +973億円)

EBITDAマージン
11.6%
(YoY +3.4 pts)

フリーCF

△857
億円
(YoY +955億円)

営業CF
△88億円
(YoY +1,723億円)

有利子負債

9,488
億円
(YoY +485億円)

純有利子負債
4,130億円
(YoY △1,876億円)

D/Eレシオ

0.40
(YoY △0.05)

自己資本比率

34.9%
(YoY +1.7 pts)

- **受注高：33,835億円**（前年同期比：+2,464億円）
エネルギー、プラント・インフラ、物流・冷熱・ドライブシステムの3セグメントが増加。
前年同期に複数の大型案件を受注した防衛・宇宙は減少したが、エネルギーではGTCCや航空エンジン、プラント・インフラでは製鉄機械が受注を伸ばした
- **売上収益：22,981億円**（前年同期比：+2,288億円）
エネルギー、プラント・インフラ、航空・防衛・宇宙の3セグメントが前年同期比増収。
特に防衛・宇宙が、航空機・飛昇体を中心に売上収益を大きく伸ばした
- **事業利益：1,884億円**（前年同期比：+874億円）
エネルギー、プラント・インフラ、航空・防衛・宇宙の3セグメントが前年同期比増益。
売上増・利益率改善、為替円安影響等が寄与し、事業利益は前年同期比87%増の1,884億円となった
- **当期利益：1,071億円**（前年同期比：+151億円）
事業利益が大きく増加したことから、期末日レートが円高に振れ為替換算差損が生じたものの、前年同期比17%増の1,071億円となった

2. 2024年度第2四半期決算実績

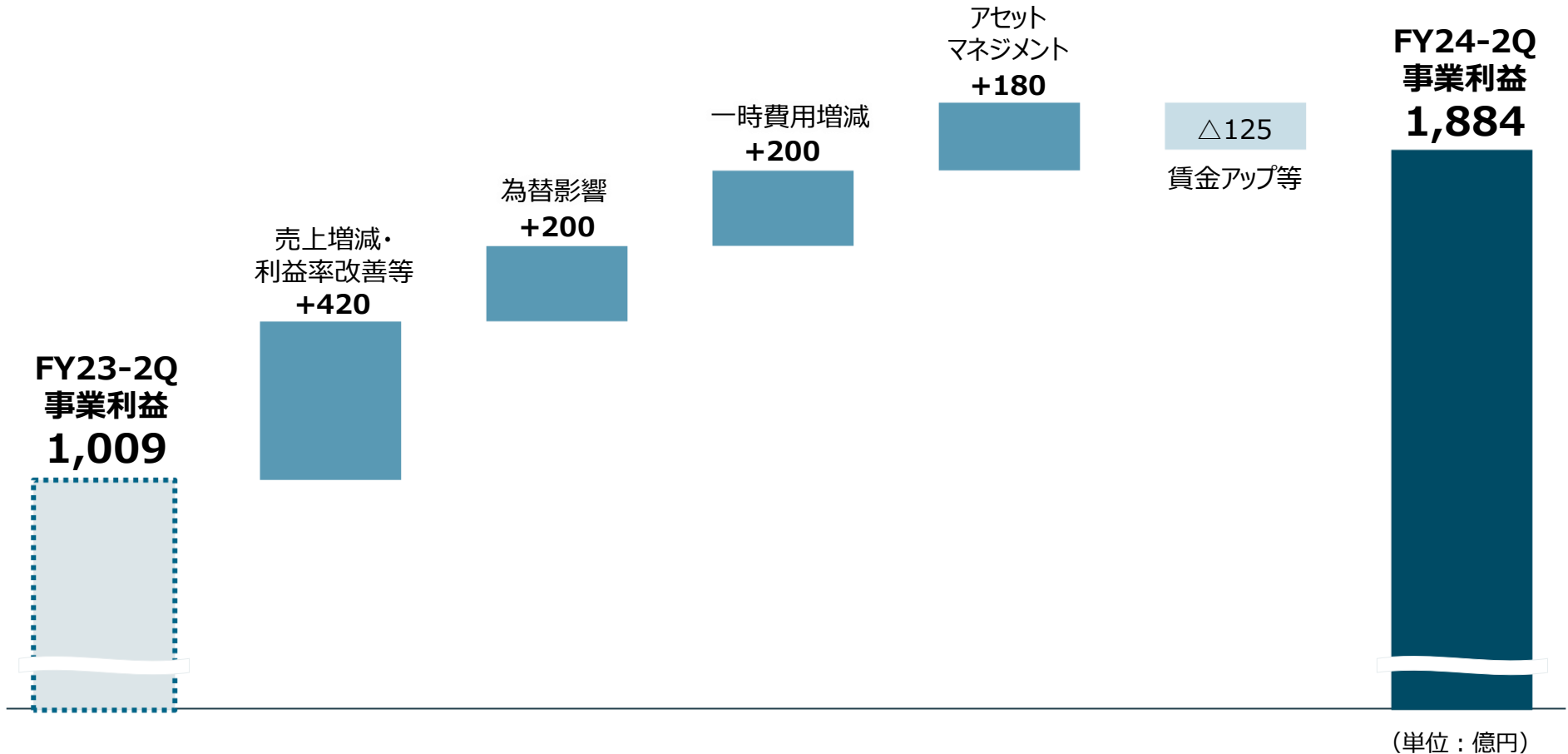
(単位：億円)	FY2023-2Q (利益率)	FY2024-2Q (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
受注高	31,370	33,835	+2,464	(+7.9%)
売上収益	20,692	22,981	+2,288	(+11.1%)
事業利益	1,009 (4.9%)	1,884 (8.2%)	+874 (+3.3 pts)	(+86.7%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	919 (4.4%)	1,071 (4.7%)	+151 (+0.3 pts)	(+16.5%)
EBITDA	1,689 (8.2%)	2,662 (11.6%)	+973 (+3.4 pts)	(+57.7%)
フリー・キャッシュ・フロー	△1,812	△857	+955	

連結財政状態、キャッシュ・フロー

連結財政状態	(単位：億円)	FY23末	FY24-2Q末	増減
売上債権（営業債権及び契約資産）		16,924	16,919	△4
棚卸資産		9,745	11,014	+1,268
その他流動資産		7,529	9,080	+1,551
（うち現金及び現金同等物）		(4,312)	(5,358)	(+1,045)
固定資産		11,747	11,662	△84
投資等		16,615	16,093	△522
資産合計		62,562	64,770	+2,208
営業債務		9,588	8,087	△1,501
契約負債		10,951	12,567	+1,616
その他		11,125	10,855	△270
有利子負債		7,289	9,488	+2,198
資本		23,606	23,770	+164
（うち親会社の所有者に帰属する持分）		(22,446)	(22,588)	(+142)
負債及び資本合計		62,562	64,770	+2,208
キャッシュ・フロー	(単位：億円)	FY23-2Q	FY24-2Q	増減
営業キャッシュ・フロー		△1,812	△88	+1,723
投資キャッシュ・フロー		0	△768	△768
フリー・キャッシュ・フロー		△1,812	△857	+955

事業利益増減分析

- エナジー、防衛・宇宙を中心とした売上増加や、利益率改善で増益
- 前年同期に航空エンジン事業で計上した一時費用のリバウンドに加え、横浜本牧工場の一部土地売却も増益に貢献

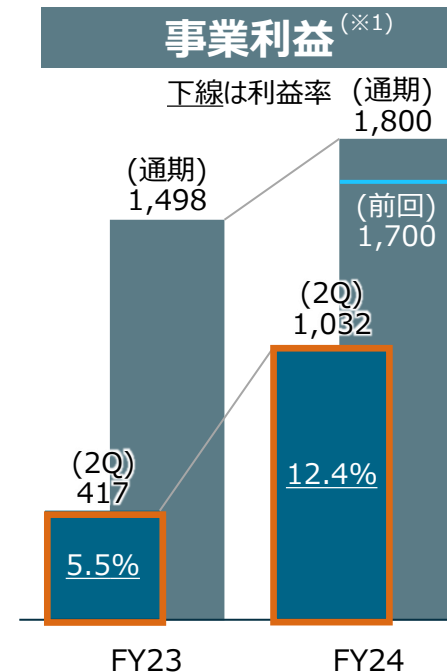
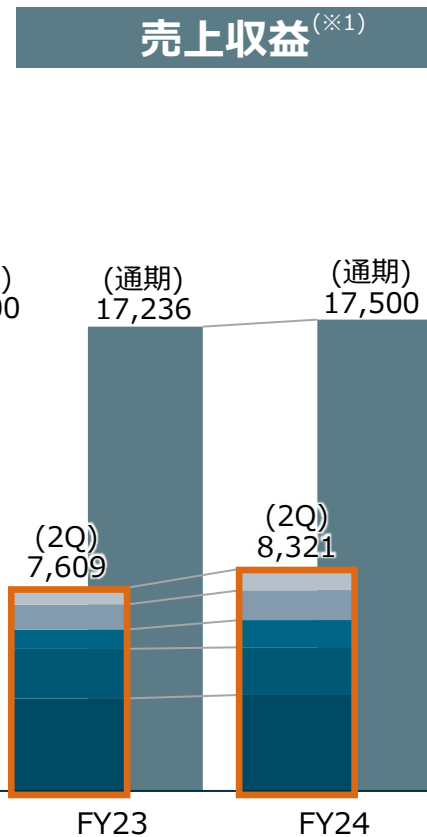
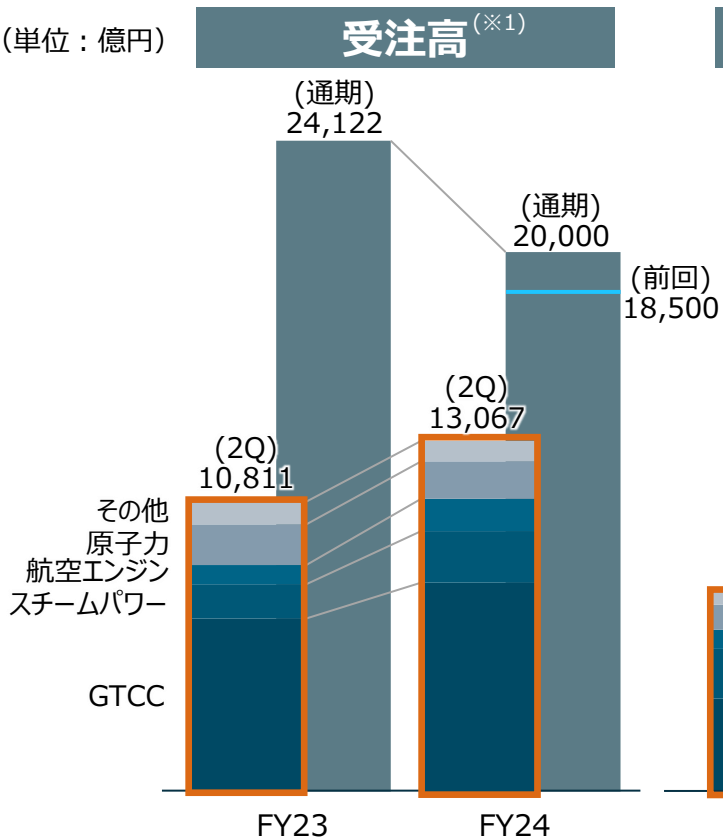


	受注高			売上収益			事業利益		
	(※1) FY23 2Q	FY24 2Q	増減	(※1) FY23 2Q	FY24 2Q	増減	(※1) FY23 2Q	FY24 2Q	増減
(単位：億円)									
エネルギー	10,811	13,067	+2,256	7,609	8,321	+712	417	1,032	+615
プラント・インフラ	4,227	5,994	+1,766	3,670	3,791	+121	160	281	+120
物流・冷熱・ ドライブシステム	6,500	6,576	+76	6,333	6,328	△5	367	269	△97
航空・防衛・宇宙	9,994	8,021	△1,972	3,189	4,317	+1,127	274	440	+165
その他及び 全社又は消去	△162	175	+338	△109	222	+332	△210	△138	+71
合計	31,370	33,835	+2,464	20,692	22,981	+2,288	1,009	1,884	+874

(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

セグメント別決算実績 <エナジー>

(単位：億円)



2Q実績 前年同期比

増益：

- ・GTCC
- ・スチームパワー
- ・航空エンジン
- ・原子力

(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

主な事業	受注高	
	FY23-2Q	FY24-2Q
GTCC	6,489	7,813
スチームパワー	1,264	1,911
航空エンジン	715	1,192
原子力	1,501	1,385

	売上収益	
	FY23-2Q	FY24-2Q
	3,521	3,648
	1,836	1,765
	707	1,008
	929	1,109

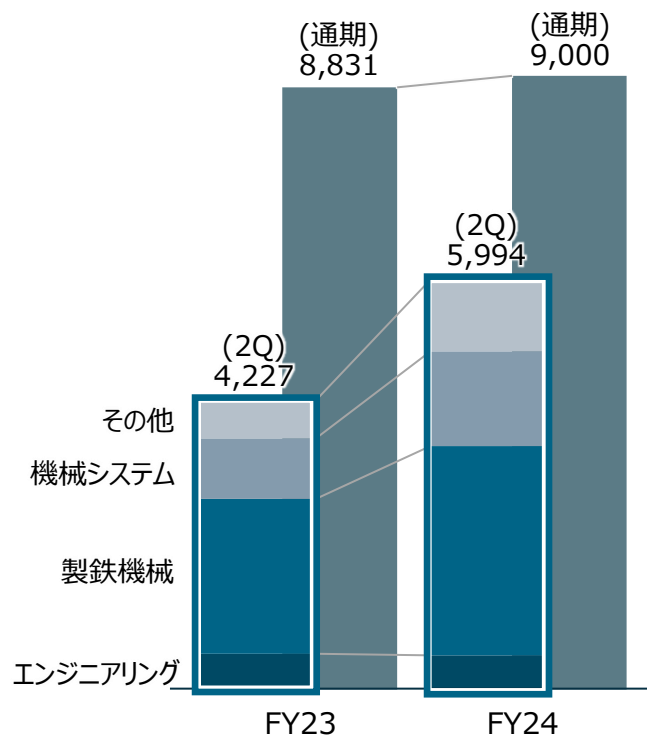
決算実績・通期見通しのポイント

- GTCCは主に米州で受注が大幅に増加。採算改善等により増益
- スチームパワーは採算改善等により増益
- 航空エンジンは売上増に加え前年同期に計上した一時費用のリバウンドにより増益
- 原子力は堅調に推移
- 受注、事業利益について、セグメントの進捗状況を踏まえて、通期見通しを上方修正

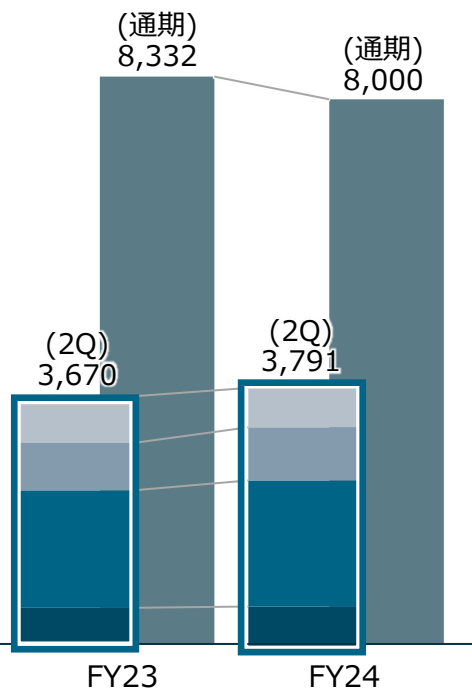
セグメント別決算実績 <プラント・インフラ>

(単位：億円)

受注高^(※1)

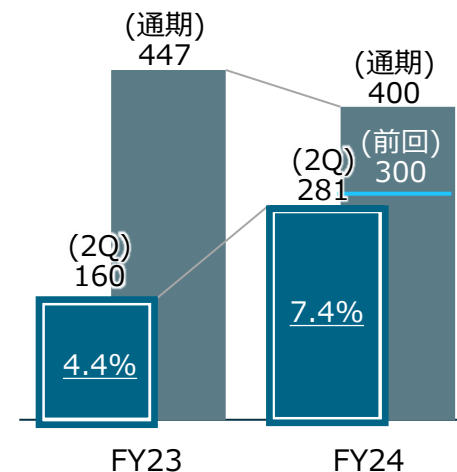


売上収益^(※1)



事業利益^(※1)

下線は利益率



2Q実績 前年同期比

- 増益：
- ・エンジニアリング
 - ・製鉄機械
 - ・機械システム

(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

受注高

主な事業	受注高	
	FY23-2Q	FY24-2Q
エンジニアリング	511	487
製鉄機械	2,269	3,070
機械システム	890	1,386

売上収益

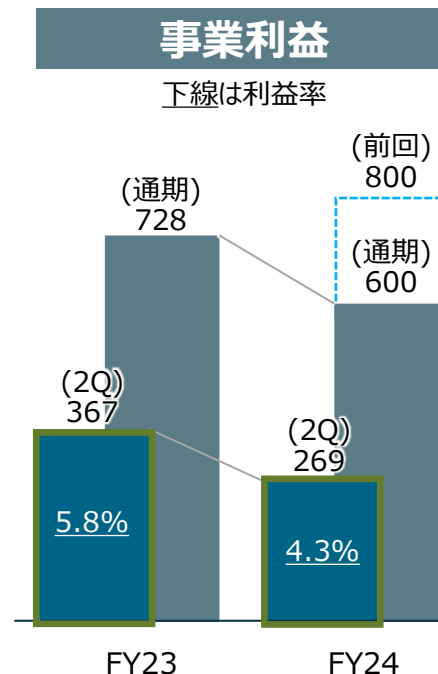
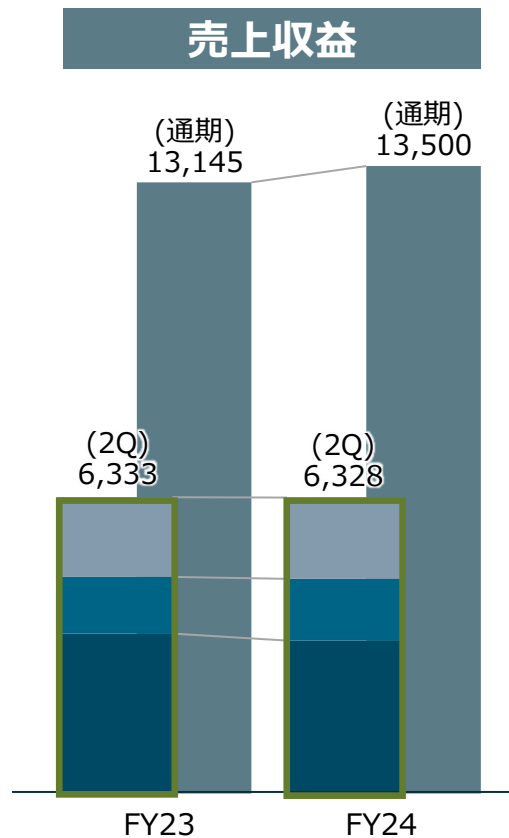
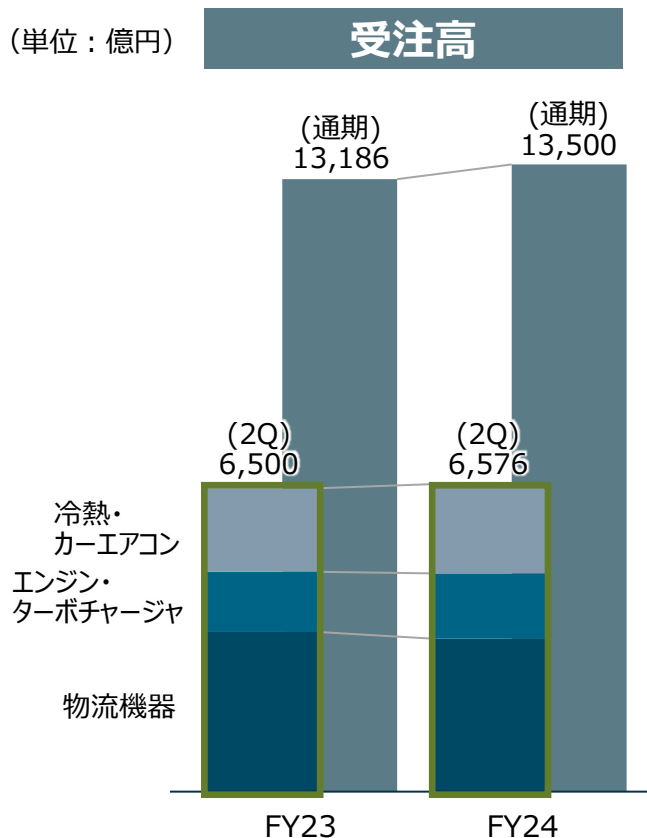
	売上収益	
	FY23-2Q	FY24-2Q
	572	589
	1,719	1,849
	695	778

決算実績・通期見通しのポイント

- エンジニアリングは採算改善等により増益
- 製鉄機械は受注が好調。為替円安等で増収増益
- 機械システムは受注、売上、利益ともに増加
- その他では環境設備の受注が増加
- 事業利益について、セグメントの進捗状況を踏まえて、通期見通しを上方修正

セグメント別決算実績 <物流・冷熱・ドライブシステム>

(単位：億円)



2Q実績 前年同期比

減益：

- ・物流機器
- ・ターボチャージャ

主な事業	受注高	
	FY23-2Q	FY24-2Q
物流機器	3,437	3,288
エンジン・ターボチャージャ	1,290	1,404
冷熱・カーエアコン	1,798	1,924

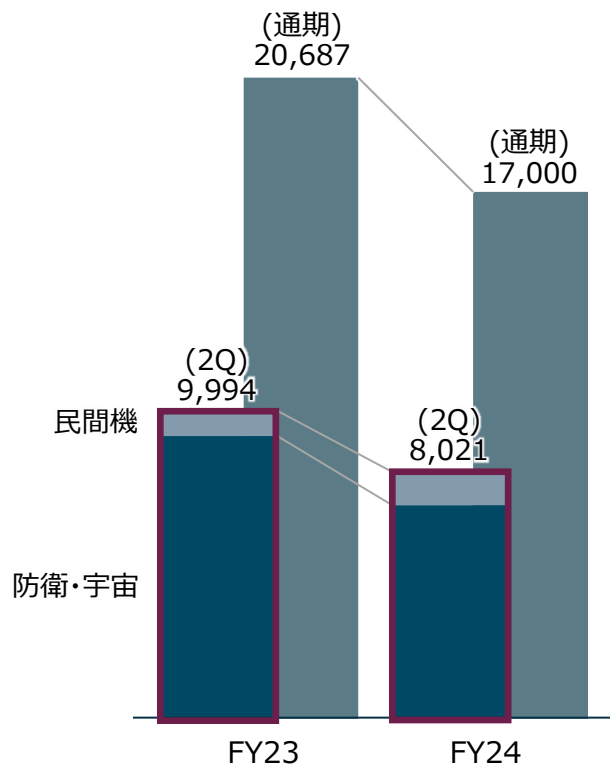
主な事業	売上収益	
	FY23-2Q	FY24-2Q
物流機器	3,437	3,288
エンジン・ターボチャージャ	1,223	1,328
冷熱・カーエアコン	1,709	1,750

- ### 決算実績・通期見通しのポイント
- 物流機器は販売台数の減少等により減収減益
 - ターボチャージャはサプライチェーンの混乱にともなう費用増により減益
 - 事業利益について、セグメントの進捗状況を踏まえて、通期見通しを下方修正

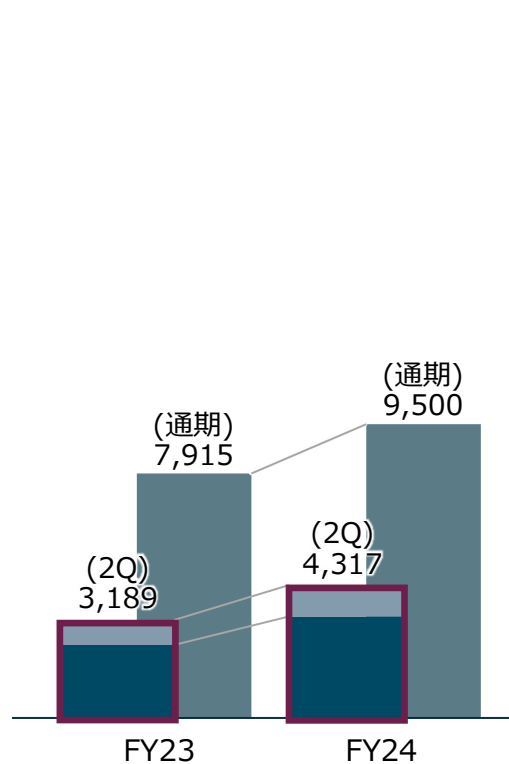
セグメント別決算実績 <航空・防衛・宇宙>

(単位：億円)

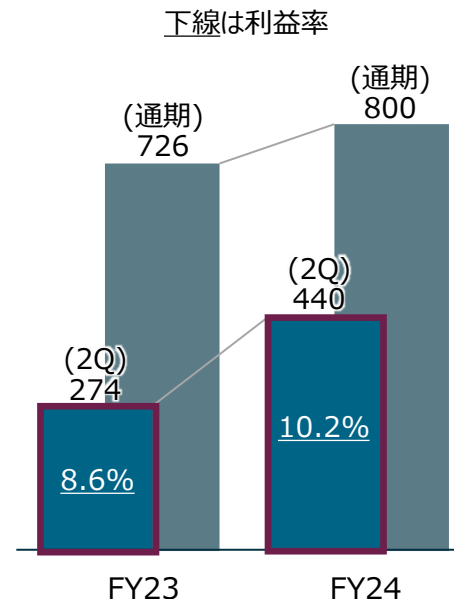
受注高



売上収益



事業利益



2Q実績 前年同期比

増益：
・防衛・宇宙
・民間機

決算実績のポイント

- 防衛・宇宙は順調な工事の進捗・採算改善により増収増益
- 民間機はTier1事業において、出荷機数増・為替円安の影響等により増収増益

受注高

主な事業	受注高	
	FY23-2Q	FY24-2Q
防衛・宇宙	9,184	6,949
民間機	810	1,071

売上収益

主な事業	売上収益	
	FY23-2Q	FY24-2Q
防衛・宇宙	2,385	3,307
民間機	803	1,009

3. 2024年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

従いまして、この業績見通しのみによらずに投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

■ 受注高：60,000億円（前回見通し比：+2,000億円）

	前回見通し	今回見通し	増減
エネルギー	18,500億円	20,000億円	+1,500億円
その他及び全社又は消去	0億円	500億円	+500億円

■ 事業利益：3,500億円（前回見通し比：±0億円）

	前回見通し	今回見通し	増減
エネルギー	1,700億円	1,800億円	+100億円
プラント・インフラ	300億円	400億円	+100億円
物流・冷熱・ドライブシステム	800億円	600億円	△200億円

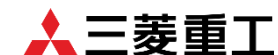
■ 売上収益、当期利益、フリー・キャッシュ・フロー及び配当金は、前回公表より変更なし

前回公表（2024年8月6日）から変更あり

(単位：億円)	2023年度 (利益率)	2024年度 (利益率)		2023年度比 増減 (利益率)	(増減率)
		前回見通し	今回見通し		
受注高	66,840	58,000	60,000	△6,840	(△10.2%)
売上収益	46,571	49,000	49,000	+2,428	(+5.2%)
事業利益	2,825 (6.1%)	3,500 (7.1%)	3,500 (7.1%)	+674 (+1.0 pt)	(+23.9%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,220 (4.8%)	2,300 (4.7%)	2,300 (4.7%)	+80 (△0.1 pts)	(+3.6%)
ROE	11.1%	10%	10%	△1.1 pts	
EBITDA	4,326 (9.3%)	5,000 (10.2%)	5,000 (10.2%)	+673 (+0.9 pts)	(+15.6%)
フリー・キャッシュ・フロー	2,001	△1,000	△ 1,000	△3,001	
配当 ^(※1)	20円 中間8円/期末12円	22円 中間11円/期末11円	22円 中間11円/期末11円	前提為替レート： 1ドル = 145円、1ユーロ = 155円	

(※1) 配当（株式分割考慮後）は、2024年4月1日の株式分割（10分割）を踏まえ、2023年度に遡り調整（分割前配当×1/10）した金額を記載

業績見通し セグメント別内訳



前回公表（2024年8月6日）から変更あり

	受注高				売上収益			事業利益				
	FY23 実績 ^(※1)	FY24見通し		FY23比 増減	FY23 実績 ^(※1)	FY24 見通し	FY23比 増減	FY23 実績 ^(※1)	FY24見通し		FY23比 増減	
		前回	今回						前回	今回		
(単位：億円)												
エネルギー	24,122	18,500	20,000	△4,122	17,236	17,500	+263	1,498	1,700	1,800	+301	
プラント・インフラ	8,831	9,000	9,000	+168	8,332	8,000	△332	447	300	400	△47	
物流・冷熱・ ドライブシステム	13,186	13,500	13,500	+313	13,145	13,500	+354	728	800	600	△128	
航空・防衛・宇宙	20,687	17,000	17,000	△3,687	7,915	9,500	+1,584	726	800	800	+73	
その他及び 全社又は消去	12	0	500	+487	△58	500	+558	△575	△100	△100	+475	
合計	66,840	58,000	60,000	△6,840	46,571	49,000	+2,428	2,825	3,500	3,500	+674	

(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

4. 補足資料

大型ガスタービン 受注台数・契約残台数

	FY23-2Q	FY23通期	FY24-2Q
米州	1	7	5
アジア	6	9	3
EMEA	-	-	1
その他	-	1	-
受注台数 合計	7	17	9
契約残台数	39	36	36

【参考】中国の協業先企業における受注台数

	FY23-2Q	FY23通期	FY24-2Q
受注台数	9	21	5

民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY23	7	11	7	5	30
FY24	6	6	/	/	12

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY23	0	1	3	2	6
FY24	3	3	/	/	6

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY23	9	7	13	14	43
FY24	9	12	/	/	21

受注残高

	FY23-4Q ^(※1)	
	(単位：億円)	
	FY23-4Q	FY24-2Q
エネルギー	42,311	45,672
プラント・インフラ	16,224	17,577
物流・冷熱・ドライブシステム	583	832
航空・防衛・宇宙	24,742	28,144
その他及び全社又は消去	144	163
合計	84,005	92,390

未確定外貨

	(億通貨単位)	
	USD	EUR
未確定外貨（事業利益）	15	3
未確定外貨（金融収益費用）	7	2
前提為替レート	145.0	155.0

研究開発費、減価償却費、設備投資

	(単位：億円)		
	FY23-2Q	FY24-2Q	FY24見通し
研究開発費	677	930	2,200
減価償却費	679	778	1,500
設備投資	1,013	868	1,800

販売費及び一般管理費

	(単位：億円)	
	FY23-2Q	FY24-2Q
販管費	3,118	3,472

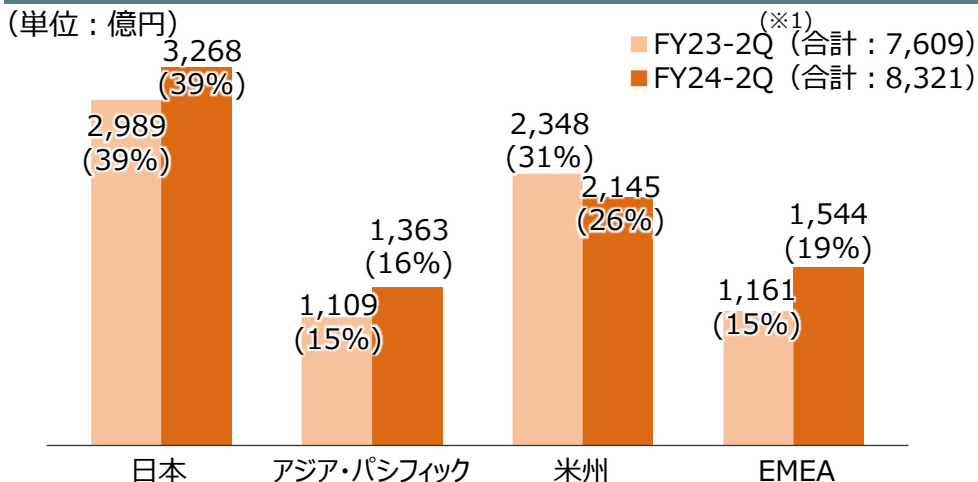
為替レート（売上計上平均レート）

	FY23-2Q	FY24-2Q
USドル（円/USドル）	139.6	153.2
ユーロ（円/ユーロ）	150.8	164.5

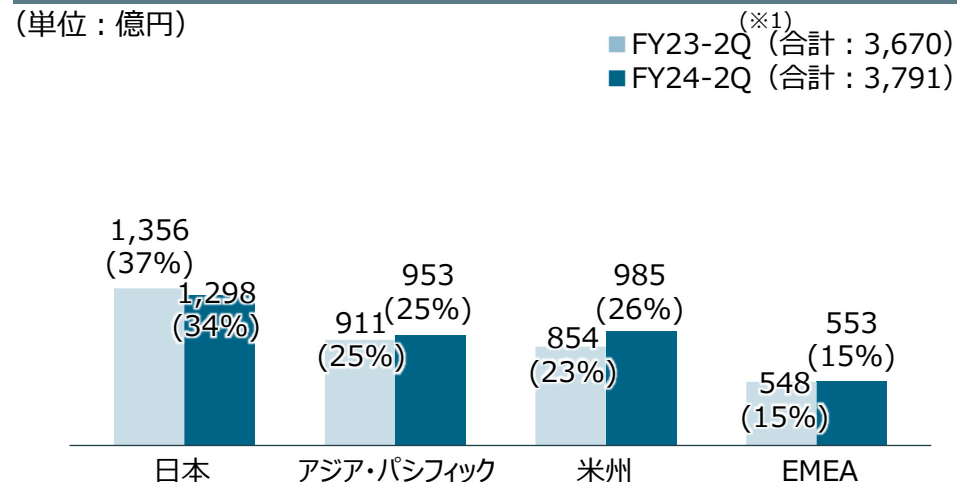
(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

地域別売上高

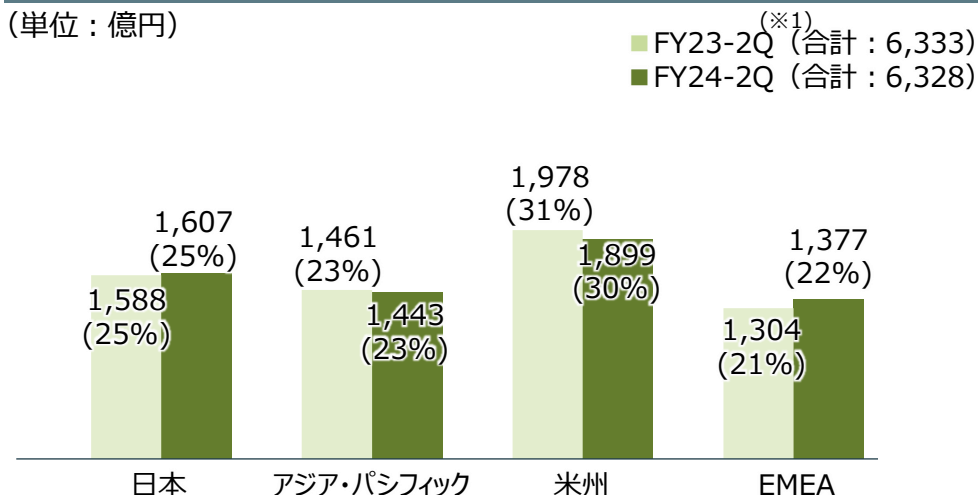
エネルギー



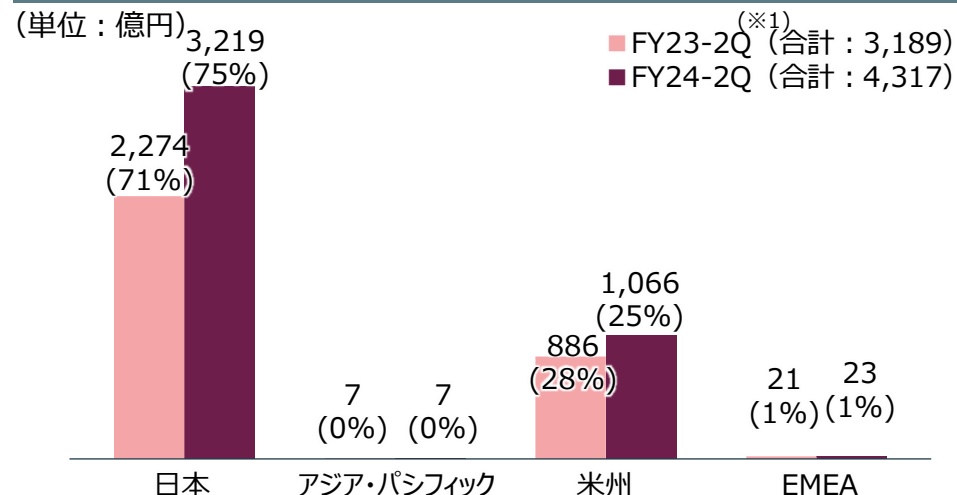
プラント・インフラ



物流・冷熱・ドライブシステム



航空・防衛・宇宙

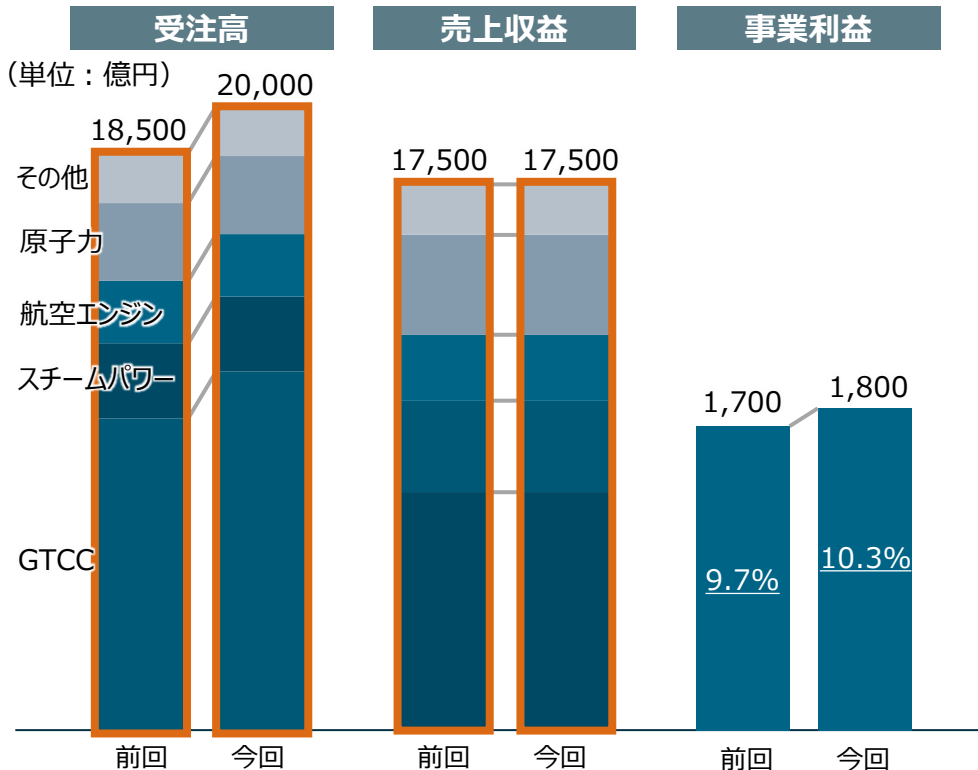


(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

セグメント別の状況 <エナジー、プラント・インフラ>

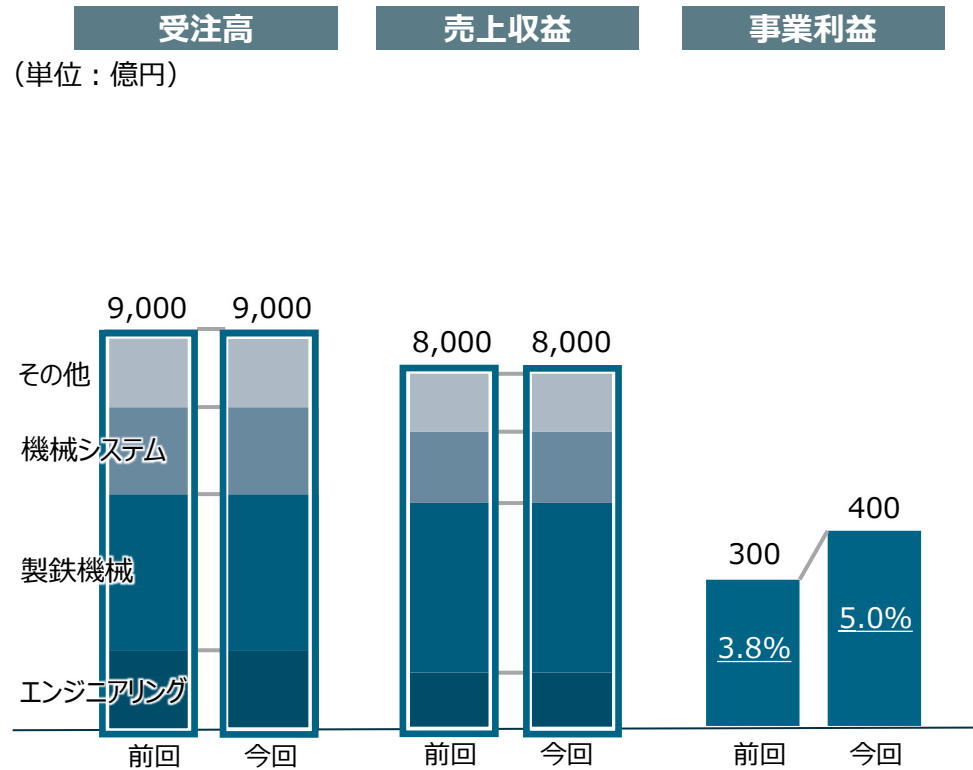
エナジー

2024年度見通し



プラント・インフラ

2024年度見通し



事業環境・トピック

- GT市場：数年後50~60GW/年レベルまで増加の見通し
- 航空エンジン市場：有償旅客キロ数(RPK)は通期で前年比+10%超成長の見通し
- 原子力：PWR保全工事に加え、BWR再稼働支援中

事業環境・トピック

- 製鉄機械市場：グリーンスチールメイキングへの投資が加速、市場拡大が見込まれる

セグメント別の状況 <物流・冷熱・ドライブシステム、航空・防衛・宇宙>

物流・冷熱・ドライブシステム

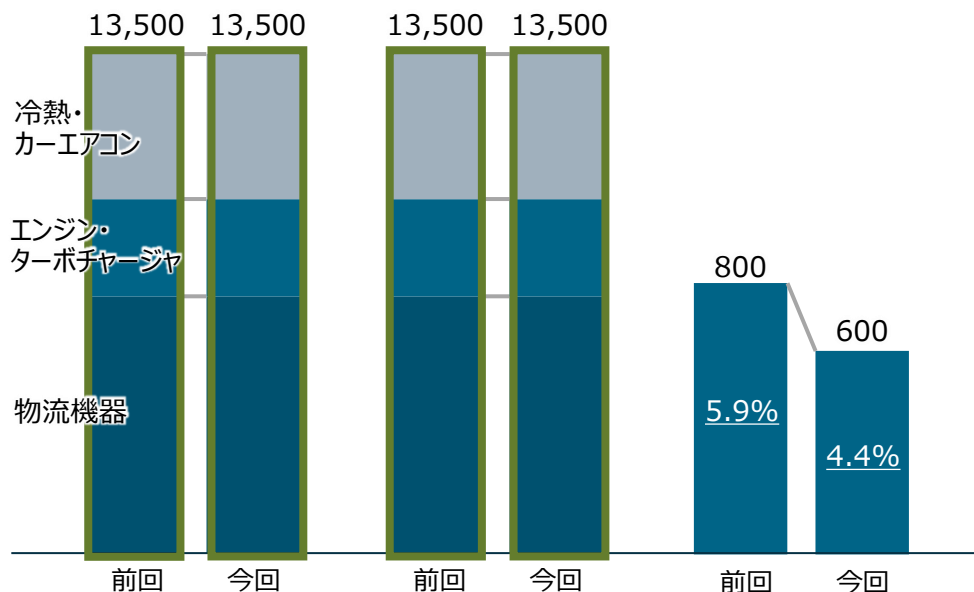
2024年度見通し

受注高

売上収益

事業利益

(単位：億円)



航空・防衛・宇宙

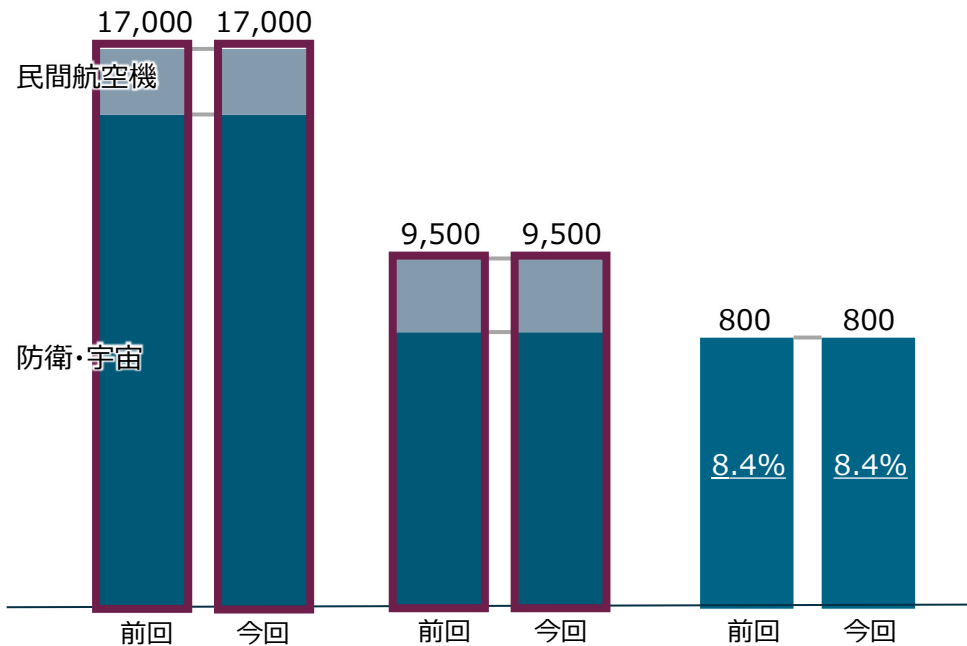
2024年度見通し

受注高

売上収益

事業利益

(単位：億円)



事業環境・トピック

- 物流機器：国内は堅調だが、北米でのエンジン認証問題等により、海外の販売台数減
- エンジン：データセンタ向け等を中心に需要が拡大

事業環境・トピック

- 防衛・宇宙：国家安全保障の取り組みを受け、受注堅調
- 民間機：787は生産レートが回復傾向。Boeing社のストライキの影響を注視

